

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	1人60分の療育を行っており、同時間に少人数(2・3人)での活動とし、できるだけスペースの確保と目が行き届くように努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	利用者1名に対して必ず指導者1名が対応する個別療育を行っている。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	100%	0%	2階であり、エレベーターもないことからバリアフリーではない。入り口から療育室までは1段上がるが室内は全てバリアフリー化している。療育室内は視覚もない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日活動後、掃除機で床、遊具は消毒し清潔に保つよう努めている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日職員のミーティング時間を必ず設けており、前日の振り返りをはじめ、共有事項や当日のプログラム内容の立案に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	調査結果に基づき意向をいただいた件については改善につなげていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	100%	0%	非該当
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	80%	第三者の方に見ていただく機会はあるが、外部評価と言う形では行っていない。今後は検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	その分野(作業療法等)の専門の先生を招いて実践の中で研修を行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	面談・体験時のフェイスシートやアセスメントシート、J SIRやvineland- IIを活用しながら行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	J SIRやvineland- IIを活用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な内容が設定されているか	100%	0%	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	指導員は担当制ではないため共有して療育にあたるよ
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	日々のミーティング時にそれぞれの専門的観点から意見を出し合いプログラム立案の参考としている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	日々のミーティングをもとに、全職員で心掛けている。担当制ではないのでそうだと思う。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	対象児童の学齢や園や学校での課題を療育に反映させるよう立案されている。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	日々のミーティングは必ず支援開始前に行っている。前日の支援内容の振り返り、当日の支援内容の確認など具体的にできている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	サービス提供記録をもとに振り返りながら、担当者やその他の職員で意見を交えながら話し合っている。翌日のミーティング時においても、前日の支援内容の振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	サービス提供記録と別に職員間のミーティング内容に基づいた記録もしており、日々の検証・改善に活用している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	0%	利用者のお迎えを保護者をお願いしており、当日の支援内容を伝えるだけでなく、日々の児童の様子や、幼・保育園、学校での様子等もヒアリングし、ニーズも把握しながら取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	0%	100%	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0%	100%	非該当
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0%	100%	非該当
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0%	100%	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	個人情報の観点から保護者と相談し、希望に沿いながら、行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修受けているか	0%	100%	開催がされれば参加していきたいと思う。次月参加予定。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	80%	特別に機会を設けて行っていない。お迎え時に必ずフィードバックをおこなっているため、その際に伝えあうことができている。
	㉙	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0%	100%	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	それぞれ契約時やフィードバック時に把握するよう努めている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	80%	20%	代替支援などを活用することで機会が増えた。ここでの活動だけでは足りないので提案するように努めている。
		㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	お迎え時のフィードバック時に受けた話を共有しながら対応している。
	③⑤	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60%	40%	特別に機会をもうけているわけではないが、お迎え時など交流しているような様子がうかがえる。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33%	67%	HPのブログや連絡網アプリ等で活動をアップしている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	0%	100%	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	40%	60%	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	40%	60%	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	体験・面談時、契約時にアレルギー等について保護者に確認し記録に残している。

:う努めている。